

学校適正配置指針・計画の見直しに係る北部地区3校対象保護者説明会

日時：令和6年10月5日（土）10：00～

場所：メセナホール

参加者：約20名

質問：小規模特認校制度で通学しているが、入学の際にスクールバスが導入される可能性があるかと聞いていた。今日の説明でそのあたりの説明はなかった。スクールバス導入の予定について伺いたい。

回答：スクールバスについては検討課題であると考えている。

質問：新庁舎の建設費に多額の費用がかかっていると聞いている。

新庁舎には予算がつくのに、子どもたちのことには予算がつかないのか。

回答：庁舎に関することについては回答できない。ただ、教育委員会の立場として教育にかける情熱は持っている。教育に必要なものは費用をかけていきたいと考えている。

意見：スクールバスの件については、検討ではなく対応をしてほしい。

意見：複式学級になる恐れがあるとのことだが、基準を調べたところ、「～することができる」となっており「～しなければならない」ものではないと思う。基準はあくまでも国や県のもので、決定するのは市だと思う。県から教員が派遣されるということだが、市で教員を雇うこともできると思う。

特認校制度で入学している保護者に対し、入学の際に複式学級になる可能性があることを伝えていないのであれば、だまし討ちのような印象を受けるのではないか。

スクールバスを導入するなど費用をかけたうえで成果をみるべきでないか。

質問：児童数について将来の人数はわからないが、直近で2年から3年、3年から4年が2名ずつ減少している根拠が知りたい。

回答：推計につきましては、国立社会保障・人口問題研究所という機関の推計方法に基づき行っております。具体的には、転入・転出の割合、子どもが生まれてくる割合、男女比、開発に伴う人口増、就学率等を過去5年間の平均で推計を行っております。

ただ、資料の数値はあくまでも推計であるため、現状の八條北小学校の児童数を考えると、令和7年度の複式学級は避けられると考えております。

質問：具体的に統合の計画はいつ頃から進めるのか。

回答：統合するかしないかも含めて、学校適正配置指針・計画策定委員会で審議を行っている。ただ、委員会での決定がすべてではなく、学校の統合は大きな問題なので、議会の承認も必要になる。計画自体は令和6年度から令和7年度にかけて策定を予定している。

質問：道の駅の建設予定地が八條中学校の真横にあるが、これは八條中学校を潰して道の駅を作りたいということか。

回答：道の駅については教育委員会では関知していない。

意見：八條北小は一度スクールバスを導入して成果をみてから統合を検討してほしい。

意見：八條中を潰すのであれば、八條北小学校の土地に八條中学校を建設する方法もあるのではないか。

意見：スクールバスの話しが進まないようであれば、例えばコミュニティバスを活用しコースを増やすなどといった対応も検討してほしい。

資料6頁に「予測困難な時代をたくましく生き抜く子どもたちを育成する」とあるが、今回のスクールバスの件について、バスを導入すれば児童が増えるというのは簡単に予測できる問題だと思う。まずは大人が対応するところから始めてほしい。

意見：支援級の児童は毎年増加しているため、支援級の児童の対応についても記載してほしい。